

第 35 回病診連携委員会要録

日 時	平成 24 年 8 月 27 日 (月) 午後 7 時 30 分		
場 所	浪速区医師会 会議室		
出席者	浪速区医師会	: 8	名
	南 医 師 会	: 1	名
	愛 染 橋 病 院	: 3	名
	大 野 記 念 病 院	: 3	名
	四 天 王 寺 病 院	: 1	名
	多 根 総 合 病 院	: 1	名
	富 永 病 院	: 3	名
	浪 速 生 野 病 院	: 2	名
	大 和 中 央 病 院	: 2	名
	大 阪 警 察 病 院	: 1	名
	大 正 区 医 師 会	: 1	名
	大 正 病 院	: 2	名
	ブルーカード事務局	: 1	名
	浪速区医師会事務局	: 1	名

議 題

1. 第 34 回病診連携委員会報告について

前回委員会での議事内容の報告と確認を行った。

2. ブルーカード事例検討等連携病院からの報告について (大和中央病院)

現在、大和中央病院の登録は 19 例あり、そのうち実働が 1 例あったとのことである。また、山本第三病院と同様に地元の先生方の登録が必要と考え、登録医を増やすことや医師会として参加して頂けるかが課題であるとのことであった。

3. 病診連携委員会のアンケート結果について (資料 2)

(1) 各病院の登録医に直接ブルーカードについて広報することは可能か？

それぞれの病院名でブルーカードを広報するには、所属医師会の積極的な協力が必要と思われるという意見が多かった。

また、有田先生からは、それぞれの病院の広報誌に、ブルーカードシステムについての情報を載せていただけないかという提案があった。

(2) 地域医療としてどのようなスタンスをとるのが良いと思われますか？

地域から連携パスを始めていくという意見や、警察病院からは年末に大阪府の方針が打ち出されるので、それからという意見があった。

4. 他地区 (府外含む) でのブルーカードシステムの利用について

ブルーカードシステムを他の地区で始めることはできるかという問合せが三重県、北海道からあった。これについては、浪速区のように進めることができるかが不明であるので、ブルーカードシステムのパッケージ化なども含めて検

討することが必要であるとの結論に至った。

5. 循環器パスについて（富永病院）

富永病院より、この病診連携委員会で共有することができる循環器パスを紹介してもらった。現在利用されているクリニカルパスには詳細な情報記入欄があるものも多く見受けられるが、最低ラインの情報共有をすることから始めていくのが実用的である。そこで、できるだけシンプルに整理してこの循環器パスを作成した。複雑な内容の患者や多くの合併症を有する患者は、病院と診療所での情報共有が困難であるため、当面はカテーテルを行った合併症の少ない患者から循環器パスの共有を始めてはどうかと提案された。もう少し内容をつめて、この病診連携委員会で利用していくこととなった。また、現在の富永病院のスタンスは、2次連携病院であるものの脳・循環器関連については直接診察してもらえる状態なので、疾患指定の1次連携病院での参加に変更してほしいとの要望が委員会より出された。

6. 「未来医療を考える会」について

久保田議長より、「未来医療を考える会」の開催が案内され、その概要が説明された。運営費用も厳しい状況であり、多くの人の参加と病院への費用協力が依頼された。

7. その他

（1）大正区医師会より

近隣の大正病院や、済生会泉尾病院が連携病院なら、前向きに参加を検討したいとの考えが述べられた。そして、遠方から参加する診療所が増えても連携病院のキャパシティーや病診連携の体制は大丈夫かとの質問があった。これまでの実績から判断する限りでは連携病院のキャパシティーに問題はなく、参加する診療所の広域化に合わせて、その近隣にある病院の参加も要請してエリアごとのブルーカードシステムを構築し、それらをネットワークでつなぐ予定であることが説明された。

（2）事務局より

「未来医療を考える会」の運営費を募るにあたって、この委員会の会則が必要となり急ぎで作成したので内容を確認してほしいとの依頼があった。

現時点でのブルーカードの登録件数は、浪速区 373 件、他地区 48 件の合計 421 件、現在までの使用状況は、浪速区 225 件、他地区 6 件、8 月の新規登録は 34 件、稼働件数は 6 件であると事務局より報告があった。特に問題報告はなかった。